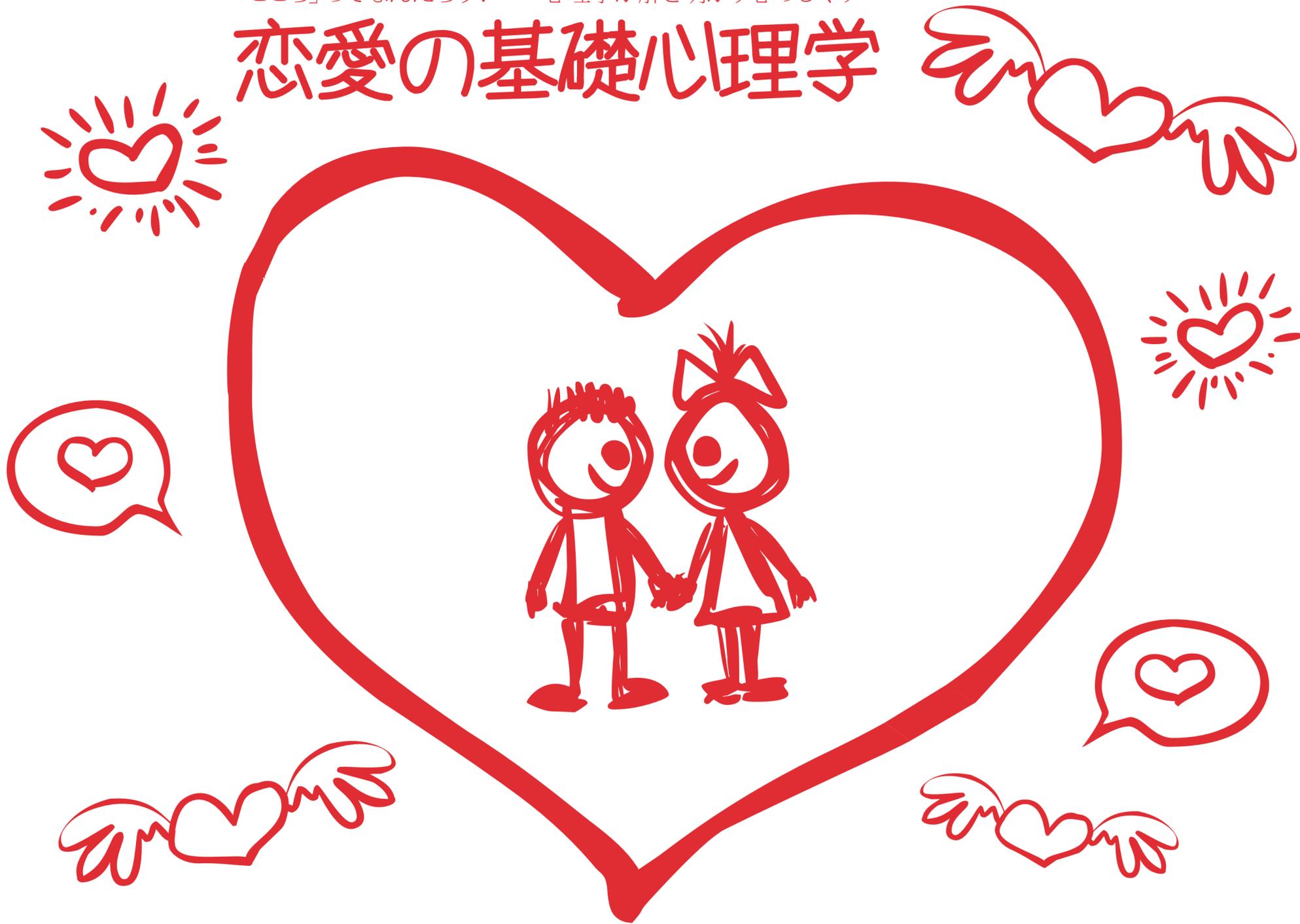


「こころ」ってなんだろう？ —心理学が解き明かす心のしくみ—

恋愛の基礎心理学



平成23年度文部科学省科学研究費補助金（研究成果公開促進費）「研究成果公开发表（B）」補助事業

日本基礎心理学会公開シンポジウム

2011.11.6

(日) 13:00~ (12:00受付開始)

東京大学・本郷キャンパス

山上会館2F大会議室

(地下鉄丸ノ内線・本郷三丁目駅より徒歩8分)

挨拶：佐藤 隆夫（東京大学）

“「目が合う」ってほんと？—視線から考える恋愛の真実と虚構”

心理学とはどんな学問なのでしょう。心理学というとTVや雑誌に登場してくる性格診断や精神分析、身近なところではスクールカウンセラーのお仕事を思いおこすかもしれません。もちろん、このような分野も心理学の一部ではありますが、ほんの一部なのです。

心理学は人間や動物の行動を科学的に研究することで「こころ」を理解しようとしてきました。このイベントは、そうした心理学が、実験や調査を通じて、恋愛の問題にどう切り込んでいけるのかを考え、そうした話を通じて基礎研究の面白さに触れて頂くものです。

挨拶の場を借りて、私も具体的に「目が合う」という誰もが一度はワクワクしたことがある体験が、ほんとうなのか、それとも単なる思い込みなのかという問題を語ってみたいと思っています。

講演に加えて、展示、実験参加などにより心理学の諸現象を体験しつつ、心理学を学んでいる大学生や大学院生と触れあう場も設けます。心理学に関心があるけれど、実際にはどんなものだと考えているあなた！ぜひ、参加して下さい。高校生を主な対象としますが、中学生や大学生、社会人の方も歓迎いたします。

もちろん、入場は無料です！

講演：松井 豊（筑波大学）

“恋ころも時代で変わる？”

恋愛はとても個人的なことで、科学の題材にはなりにくいと思われる方も多いかと思います。恋愛を心理学という科学の目で見てみると、とてもプライベートなことが社会や時代の影響を受けていることがわかります。30年前の恋愛と現在の恋愛を比べた大学生のデータから、恋ころがどのように時代の影響を受けているかを説明します。

講演：長谷川 寿一（東京大学）

“「メスとオス」から「女と男」へ”

一生のうちで異性のことを考えている時間は、他のどんな心の時間よりも多いかもかもしれません。とくに10代、20代では異性は世界のすべてでしょう。それは動物でも同じです。では人間の恋愛は動物の配偶行動と全く同じかと言えば、それは少し違います。この講演では、動物の配偶行動の多様性を紹介した後、人間の恋愛との連続性を説明し、最後に人間の恋愛の独自性を述べてみたいと思います。「恋心」の基礎心理学を伝授しましょう。

体験デモ

講演と合わせて、あなたの目と判断の正確さを試す心理学基礎実験のいろいろ用意してあります。

参加申込

興味があればまずは電子メール(kisoshin-post@bunken.co.jp)にてお申し込みを、申し込んでいなくても当日の参加もOKです、ぜひお友達も誘ってください。

電子メールでお申し込みの方は、住所・氏名・所属名(勤務先、在学学校名)を明記してください。事前に電子メールにてお申し込みの方、先着100名様に当日、記念品「新作・驚き錯視図」を贈呈いたします。

入場無料

主催 日本基礎心理学会
協力 東京大学・慶応義塾大学・専修大学・千葉大学・立教大学・九州大学・東北大学

連絡先 日本基礎心理学会事務センター
〒169-0075 新宿区高田馬場4-4-19
(株) 国際文献印刷社内
☎ kisoshin-post@bunken.co.jp
☎ 03-5389-6239 ☎ 03-3368-2822

